



1 明北小1年生活科『かんだち山で楽しもう!』 5月26日(水)



「かんだち山に行ったよ!」 1学年だよりから

26日(火)に、かんだち山に出かけました。子どもたちは朝から早く行きたくて、意欲まんまんで山道をどんどん登っていきました。東屋があるところには、ブランコやターザンロープ、急坂を登るためのロープがあり、子どもたちは大興奮で遊んでいました。また、置いてあった木や落ち葉などを使ってお家ごっこをしたり、基地を作ったりする姿も見られました。みんな思い思いの遊びでめいっぱい楽しみました。

振り返りでは、「次は秘密基地を作りたい」とか「もっと遊具で遊びたい」といった意見も出ました。次に行くときは、どんなことをしようかなと今から楽しみです。



明科地域には、「長峰山」や「犀川」、「かんだち山」や「廃線敷」等々、豊かな自然に親しみ、文化や歴史に触れられる環境が身近にあり、学校・地域の特色を活かした探究心の高まりが期待できます。

かんだち山広場やその付近には、現中学生をはじめとした先輩たちが、小学校生活の中で作ったり整備したりしてくれた遊具や東屋があります。そこで遊ぶ子どもたちの歓声や笑顔は、先輩たちが願う情景だったに違いありません。1年生は、実際にそこにある物を見たり手にしたりして楽しむことで、更なる楽しさへと遊びを発展させていました。魅力ある自然の中で、子どもたちは豊かな発想力や好奇心を膨らめています。

2 明科小中3校『明科地区特別支援学級3校交流会』 5月22日(金)



「交流会を通して3校の児童生徒が親睦を深め、共に活動することの良さや楽しさを感じる」ことを目的とし、明南小学校体育館で小中3校の交流会が行われました。

中学生が全体の司会・進行役となって活動を進めました。班ごとに自己紹介をした後「ハンカチ落としゲーム」「ビリビリ新聞ゲーム」「ドッジビー」を皆で楽しみました。自己紹介やゲーム等を行う前に、中学生が、実際の動きでやり方の説明をしてくれたので、小学生も分かりやすかったと思います。小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちが参加しましたが、困ったときには声をかけ応援し合う姿が多々見られ、皆が楽しめる交流会になりました。



3 明北小全校『縦割り班で体カテスト』 5月13日(月)



明北小では、縦割り班で体カテストを実施しています。6年生は最上級生として班の先頭に立ち、5年生は6年生のサポート役としての役割を自分たちで考え、体カテストに臨みました。準備運動や記録用紙への記入等、高学年で声をかけ合い、分担して行いました。いつもお兄さんお姉さんの姿を見ている低・中学年に、高学年の姿が引き継がれていきます。